



一 誠



- よく考え進んで学ぶ子
 - 明るく心の豊かな子
 - じょうぶでたくましい子
- 令和5年4月10日

一人一人の子供たちの幸せのために～自ら、共に～

校長 鈴木晋作

春の日差しは、心も体も軽やかにしてくれるような気がします。校長の鈴木晋作です。本校4年目の勤務をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、令和5年度が始まりました。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。今年度は新型コロナウイルス感染対策も緩和され「マスクの着用を求めないことを基本とする」教育活動が展開できることとなります。

私たち高静小学校全47名の教職員は、基本理念「一人一人の子供たちの幸せのために ～自ら、共に～」をもとに、全校児童468名のために全力で教育活動にあたる所存です。子供の教育に携わる学校・家庭・地域が共通の認識に立ち、子供の指導・助言・支援に当たることができるようご理解とご協力をお願いいたします。

始業式や着任式は、3年ぶりに全校児童対面形式で行うことができました。体育館中に響き渡る子供たちの元気いっぱいのあいさつを聞くことができ、感激しました！以下、始業式の中で私が子供たちに話したことをご紹介いたします。



おはようございます！一つ上の学年への進級おめでとうございます。みなさんが元気で始業式を迎えることができ、とてもうれしく思っています。今日は学校のお正月です。1年の中でとても大切な日、出発の日です。まわりの友達みんなに「今年1年間、よろしく願います」という気持ちを大切にもってほしいと思います。そして、この4月から学校でもマスクをしなくてもよいことになりました。マスクをしたい人も、マスクをはずしたい人も両方いると思うので、どちらの気持ちも大切にしてほしいと思います。さて、1年間の出発に当たり、みなさんに三つお話をします。少し長くなりますが大切なお話なのでしっかり聞いてくださいね。

一つ目は「**なんのために**」というお話です。

3月にWBCという野球の世界大会で日本チームが優勝しました。その中で大活躍したのが大谷翔平選手です。テレビで見て知っている人もいることでしょう。大谷選手は、今アメリカのプロ野球、メジャーリーグでもがんばっています。この大谷選手は、プロ野球選手になる前から、目標をしっかりとって練習をしていたそうです。なんとなく練習をするのではなく、「何のために練習をしているのか」「その練習をしてどうなりたいのか」など、自分の目標と目指すゴールをはっきり持って練習をすることが大切なのだそうです。そのことを小さい頃から続けてきたことで、世界を代表する野球選手になれたのかもしれない。

学校の勉強もおなじです。なんとなく勉強するのではなく、「何のために勉強をしているのか」「今日の勉強で目指すゴールはなんなのか」「今日の勉強でどんな力をつけたいのか」をはっきりさせて勉強してみてください。きっと今まで以上に力がつくはず。そのほかにも、「なんのためにあいさつをしているのか、どんなあいさつをしたいのか」「なんのためにそうじをするのか、どんなそうじをしたいのか」「なんのために廊下で大声を出したり、走ったりしないのか」など、いろいろなことにおいても「なんのために」を考えて生活してほしいと思います。

二つ目は「**失敗や間違いは宝物**」というお話です。

むかし、エジソンという人がいました。ちびまるこちゃんの歌にも出てきますね。エジソンはたくさんの発明をしました。その中で、電球（電気で光るランプ）を発明するのになんと1万回も失敗をしたのだそうです。そのことについてエジソンはこんなふうに言っています。「私は、1万回失敗したとは思っていない。1万のうまくいかない方法を見つけたのだ。」エジソンにとって、失敗は宝物だったのです。

私も、いままでに数えきれないぐらいたくさんの間違いや失敗をして、たくさんたくさんやり直しをしてきました。今でもそうです。みなさんも、失敗すること、うまくいかないことがあると思います。そんなときは、もう一度やりなおせばいいのですよ。どうしてもわからないときは、まわりの人に「わからないから教えて？これどうするの？」と聞けばいいのですよ。人間はまちがって、失敗して、やりなおして一步一步、成長していきます。大切なことは間違っただけ、失敗したままにしないこと。わたしたちにとって「失敗や間違いは宝物」なのです。

三つ目は「**みんなちがって、みんないい**」というお話です。

みなさんは、一人一人顔も声も体も違いますね。そして考え方もちがいますね。みんなちがっているのが当たり前ですね。もし、クラスみんなが同じ顔で、同じ体で、同じ考え方だったらどうでしょう。それはロボットのようなかもしれません。ちょっと怖いすよね。人間は、一人一人みんなちがっています。そして、みんなちがっていることがすばらしいのです。楽しいのです。おもしろいのです。元気な子、おとなしい子、大きな子、小さな子、運動が好きな子、勉強が好きな子、本を読むのが好きな子、おもしろい子、はずかしがりやの子、おっちょこちょいな子、まじめな子。あの子もいい。この子もいい。もちろん自分もいいのです。「みんなちがって、みんないい」のです。ですから、自分と考えが違うからといって仲間はずれにしたり、ちょっと気に入らないから悪口を言ったりすることは、とても悲しいことです。今日から、学校での新しい生活が始まります。自分の考えや気持ちを大切に、お友達の考えや気持ちも大切にしてください。高静小学校468人みんなのちがいが集まれば、とてつもなく大きな力になりますよ。

三つお話をしました。「**なんのために**」「**失敗やまちがいは宝物**」と「**みんなちがって、みんないい**」です。以上で私のお話を終わります。

